



平成29年度 学校だより

ぶんだ

<学校評価特集> 平成30年3月号

阿賀野市立分田小学校

TEL 62-2604 FAX 63-0514

E-mail bunda@bunda-es.agano.ed.jp

平成29年度の分田小の教育を振り返って

～ 今年度のグランドデザインに示した成果目標等の達成・取組の結果 ～

3月8日(木)には、今年度最後の学習参観に御来校いただきありがとうございました。お子さんの4月からの成長ぶりを、感じ取られたことと思っております。

さて、学校説明会で資料をもとに説明させていただきましたが、その結果と来年度に向けての改善等について以下のようにお知らせします。また、学校評議員の皆様からも学校の取組について、御意見等を頂戴しました。次年度もどうかよろしく御理解と御協力をお願いいたします。



* 3段階評価の数値は、学年・担当の部の教職員評価による集計(%)

* 4段階評価の数値は、保護者・児童アンケートによる集計(%)

(上段太字数値12月末最終評価、下段数値7月末中間評価)

【評価基準】 ◎:目標値を上回った ○:目標値を超えながやや不十分 △:目標値にもう少し ×:不十分

自分なりに考え、確かめようとする子ども (知育)						
育 活 動	項目1 ★学習の様子についてのアンケート調査等で、学習課題に対して「解きたい」「もっとやってみたい」という肯定的な回答をする児童の割合80%以上を目指す。 児童アンケートの結果……	よくあてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	◎
		81 85	17 13	2 1	0 1	
支 活 動	国語・算数において単元ごとに考える視点を与えて、児童に十分考えさせ、時間を確保して学び合う活動を取り入れる。	できた	もう少し	不十分	○	
		86 60	14 40	0 0		
育 活 動	項目2 ★家庭学習の習慣が身に付いた児童の割合90%以上を目指す(読書も含む)。*目標時間 平日:10分間×学年 保護者と児童アンケートの平均値……	よくあてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	◎
		63 52	30 38	6 6	1 4	
支 活 動	「家庭学習準備タイム(白鳥タイム)」を確実に実施する。 *ただし、行事で実施できない日を除く	計画通りに取り組めた			◎	
		100 88	0 12	0 0		
支 活 動	毎学期、中学校の試験時期に合わせ、保護者との連携による学力&元気アップ週間を設け、取組の充実と改善を図る。 *「学力&元気アップカード」の結果をもとに評価	100 88	0 12	0 0	◎	

- 学習課題や学習形態(ペア・グループ・一斉・個別学習等)の工夫を学年部で話し合い、計画的に授業の準備や実施できたことが、結果的には児童の学習意欲の向上につながったと考えます。児童アンケートの数値は目標に届きましたが、「だいたいあてはまる」の割合が後期は増えました。また、否定的な回答をしている児童には、引き続き補充の時間等で学習支援を行い「分かる」「できる」といった喜びを実感できるように努めていきます。
- 「白鳥タイム」の計画的な実施や「学力&元気アップ週間」の実施の前後に、保護者向けの便りを発行してきました。保護者・児童アンケートでの肯定的評価は高いですが、家庭学習の習慣化がもう少しという児童もいます。学校でも指導していきます。御家庭での御協力もまたお願いいたします。

互いを認め合い、共によりよく生きようとする子ども (徳育)						
育 活 動	項目1 ★「誰かの役に立っている」と思える児童の割合90%以上を目指す。 児童アンケート「誰かの役に立っていると思う児童」……	よくあてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	◎
		75 70	22 24	2 6	1 0	

育 活 動 る	全学年を混合し「縦割り班」や2つの学年を組み合わせた「ペア学年」による活動や交流の場を位置付けて、互いを認め合う活動を各学期に1回以上実施する。	できた 100 100	もう少し 0 0	不十分 0 0	◎
	また、各学級では係活動等においてどの児童にも役割をもたせ、成し遂げられるように支援して、成就感が得られるようにする。	60 23	40 77	0 0	
支 え る	自分も相手も大切にする良好な人間関係をつくるために、全校一斉でのソーシャルスキルトレーニングを各学期に実施する。	計画に基づいて実施			◎
	実践のために徳育部が資料を準備し、その資料について、職員研修で共通理解を図る。	計画に基づいて実施			◎
	全校一斉ソーシャルスキルの内容、児童の乾燥などをまとめた「生徒指導だより」を発行し、保護者に理解啓発を図る。	計画に基づいて実施			◎

- 前年度は「誰かの役に立っている」と思う児童の肯定的な評価の割合が90%に届かず、この部分を注視し、今年度は目標設定しました。児童アンケートからは、前後期とも目標値を超えることができました。児童間の交流活動(縦割り班活動とペア学年活動)を計画的に行い、活動後にメッセージカードを交わしたり、振り返り活動(評価活動)を大切にしてきたこと、更に御家庭では、お子さんのよいところを認め、褒めていただいたことが児童の自己有用感への高まりと活動意欲への喚起につながったと考えます。
- 学級の係活動等においては、前期の取組の反省から「誰のために、何のためにする活動」なのか、意識させて取り組むようにしました。

生活習慣・食習慣を改善し、進んで体を鍛える子ども (体 育)					
項目1	★落ち込みの見られた種目の記録が向上した児童の割合70%以上を目指す。(後期) ★体力テストでA・B・C評価に達する児童の割合70%を目指す。(前期) *体力テスト8種目の総合評価(A~Eの5段階)でC評価以上	できた (後期) 記録が向上した児童100% (前期) A・B・C評価の児童75%	もう少し	不十分	評価 ◎
育 活 動 る	体育部が示した運動を、体育の授業や休み時間の遊びに取り入れる。*学期に2回以上。1学期は、昨年度落ち込みのあった種目に関わる運動を学年ごとに取り入れる。	75 46	17 46	8 8	△
支 え る	体力テストで落ち込みが見られた力を高める実技研修(整備した環境を生かした活動例の紹介を含む)を体育部が企画し、全職員を対象として年2回実施する。	夏季休業と冬季休業で実施			◎
項目2	★メディアコントロールの取組において、ゲームの時間を目標どおりに削減することができた児童の割合80%を目指す。 *学力・元気アップ週間の集計結果で評価(6月・2月評価)	できた 94 89	もう少し 6 11	不十分 0 0	◎
育 活 動 る	知育部・徳育部・特別活動部と連携しながら、児童によるメディアコントロールの働き掛けを全校へ行う。	2学期に縦割り班を活用して児童によるメディアコントロールの働き掛けを実施			◎
支 え る	毎月の睡眠指導後に、睡眠時刻チェックの日を設定し、その結果を知らせ、家庭と連携して生活改善を図る。	計画通りに実施できた			◎

- 体力テストでは、C評価以上の児童が全体の75%(66名)に達しました。しかし、県平均値や全国平均値を下回る種目が多いのが説明会での実態です。個人差・男女差・学年差が今後の課題となっています。後期に各学年で再度実施した種目では、全児童が前期より記録の向上が見られました。
- メディアコントロールの取組では、今年度、ゲーム時間に焦点を当てて取り組みました。児童・保護者アンケートの結果においても80%を超える良好な結果でした。ここでは、学力・元気アップ週間の集計結果(6月と2月)の比較で記載してあります。児童の中には、ゲーム時間が0~30分間の児童もいます。次年度もゲーム時間については、一日のゲーム時間を決めて取り組みを続けていくことにします。

新年度の教育課程変更点のお知らせ

平成32年度から新しい学習指導要領が本格的に実施されます。学校説明会でもお話ししましたが、本格的実施に向けて、平成30・31年度の2年間はその移行期間となっています。

道徳は、「特別の教科 道徳」として次年度から先行して実施となります。また、この期間は3・4年生は外国語活動の時間が15時間新設(32年度からは35時間)され、5・6年生はこれまでの外国語活動35時間が50時間(32年度からは70時間)に増えます。3・4年生の外国語活動15時間、5・6年生の外国語活動の増加した15時間の授業時数は、移行期間中は総合的な学習の時間の中から充ててもよいことになっております。当校では、3・4年生は総合的な学習の時間から15時間を外国語活動の授業に充て、5・6年生は総合的な学習の時間(70時間)はこれまでどおりとして、金曜日の6限の補充学習を減らし、ほぼ隔週ごとに外国語活動の増加分の授業を行うことにしました。したがって、高学年は金曜日に6時間の授業の日がありますことを御理解願います。この他、各学年の各教科で学習内容の追加や省略が、移行期間の各年度ごとにあります。

☆おめでとう☆

<新大全国書初大会> (*準特選以上掲載)

特選 3年 [] さん 6年 [] さん
準特選 3年 [] さん 5年 [] さん [] さん [] さん

<新潟県硬筆書き初め大会> (*金賞のみ掲載)

金賞 1年 [] さん [] さん [] さん 2年 [] さん [] さん

<新潟県児童生徒絵画・版画コンクール> 絵画部門

特別賞(牧田賞) 6年 [] さん
特選 2年 [] さん 3年 [] さん 5年 [] さん 6年 [] さん
金賞 2年 [] さん 5年 [] さん